

# 排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

「はぼろ温泉サンセットプラザ」の  
ボイラーの更新による省エネルギー事業

排出削減事業者名：羽幌町

排出削減事業共同実施者名：公益財団法人 北海道環境財団

その他関連事業者名：

## 1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	羽幌町
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	はぼろ温泉サンセットプラザ
住所	〒078-4113 北海道苫前郡羽幌町北3条1丁目29番地
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	公益財団法人 北海道環境財団

## 2 排出削減活動の概要

### 2.1 排出削減事業の名称

「はぼろ温泉サンセットプラザ」のボイラーの更新による省エネルギー事業

### 2.2 排出削減事業の目的

本事業は、A重油からバイオマス燃料（廃食油）への燃料転換と、A重油ボイラーの更新により、二酸化炭素排出量の削減を目指すものである。

### 2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

「はぼろ温泉サンセットプラザ」の給湯・温泉加温・暖房に利用しているA重油ボイラー2台を、バイオマスボイラー1台とA重油ボイラー3台に更新することで、燃料転換と使用燃料の削減による二酸化炭素排出量の削減を図る。

### 2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

### 2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

特になし

## 3 排出削減活動期間

### 3.1 プロジェクト開始日

2012年12月1日

### 3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013年4月1日 ～ 2016年7月31日

## 4 温室効果ガス排出削減量

### 4.1 採用した排出削減方法論の情報

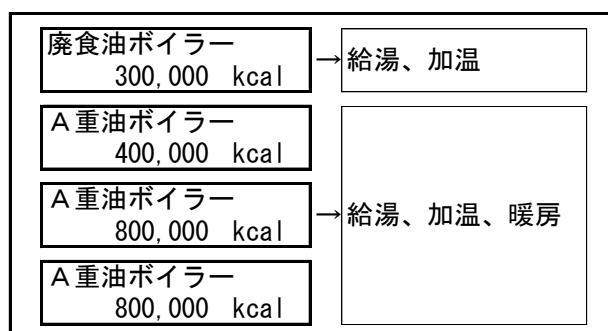
方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

### 4.2 活動量

本削減事業においては活動量・原単位は用いない。

### 4.3 事業の範囲（バウンダリー）

本事業のバウンダリーは、更新するボイラー及び更新するボイラーから温水の供給を受ける設備である。



## 5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更あ る場合、) 変更理由
$F_{fuel, PJ_1}$	事業実施後の燃料使用量 (廃食油)	kL	503.7	・燃料供給会社からの請求書をもとに算定	
$F_{fuel, PJ_2}$	事業実施後の燃料使用量 (A重油)	kL	678.5	・燃料供給会社からの請求書をもとに算定	
$HV_{fuel, PJ_1}$	事業実施後燃料の単位発熱量 (廃食油)	GJ/kL	36.3	・燃料供給会社の成分分析結果をもとに算出	
$HV_{fuel, PJ_2}$	事業実施後燃料の単位発熱量 (A重油)	GJ/kL	39.8	・Jクレジット制度のデフォルト値を利用	
$\varepsilon_{BL}$	事業実施前のボイラー効率 (A重油)	%	81.7 (高位)	・カタログ値より算出	
$\varepsilon_{PJ_1}$	事業実施後のボイラー効率 (廃食油)	%	73.5 (高位)	・カタログ値より算出	
$\varepsilon_{PJ_2}$	事業実施後のボイラー効率 (A重油)	%	85.2 (高位)	・カタログ値より算出	
$CF_{fuel, BL}$	事業実施前燃料の単位発熱量あたりの炭素排出係数 (A重油)	tCO <sub>2</sub> /GJ	0.0708	・Jクレジット制度のデフォルト値を利用	
$CF_{fuel, PJ_1}$	事業実施後燃料の単位発熱量あたりのCO <sub>2</sub> 排出係数 (廃食油)	tC/GJ	0.0000	・燃料供給会社の成分分析結果をもとに算出	
$CF_{fuel, PJ_2}$	事業実施後燃料の単位発熱量あたりのCO <sub>2</sub> 排出係数 (A重油)	tCO <sub>2</sub> /GJ	0.0708	・Jクレジット制度のデフォルト値を利用	
$CF_{electricity, t}$	電力のCO <sub>2</sub> 排出係数	kgCo <sub>2</sub> /kWh	0.570 (平成25年度) 0.554 (平成26年度)	・Jクレジット制度のデフォルト値を利用	

## 6 排出削減量の計算

### 6.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
$F_{\text{fuel,PJ}_1}$	$HV_{\text{fuel,PJ}_1}$	$CF_{\text{fuel,PJ}_1}$	
$F_{\text{fuel,PJ}_2}$	$HV_{\text{fuel,PJ}_2}$	$CF_{\text{fuel,PJ}_2}$	
503.65	36.3	0.0000	0.0
678.5	38.9	0.0708	1,868.7
$EM_{PJ}$			1,868.7

### 6.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
$Q_{\text{fuel,BL}_1}$		$CF_{\text{fuel,BL}}$	
$Q_{\text{fuel,BL}_2}$			
16,447.5		0.0708	1,164.5
27,524.3			1,948.7
$EM_{BL}$			3,113.2

### 6.3 リークエージ排出量

本事業における顕著かつ計測可能なバウンダリー外での温暖化ガス排出は特定されない。

$LE$	0.0
------	-----

### 6.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	$EM_{BL}$	3,113.2
事業実施後排出量 (7.1)	$EM_{PJ}$	1,868.7
リークエージ排出量 (7.3)	$LE$	0.0
温室効果ガス排出削減量	$ER$	1,244

## 7 省エネルギー量

原油換算 (k1)		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン - 実績 (①-②)
1,134.5	684.5	450.0

## 8 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 (2013年4月1日 ~2016年7月31日)			
		エネルギー使用量	熱量換算 (GJ)	原油換算 (k1)
	単位	(実績)	(実績)	(実績)
バイオマス(廃食油)利用量	kL	503.7	18,282.5	471.7